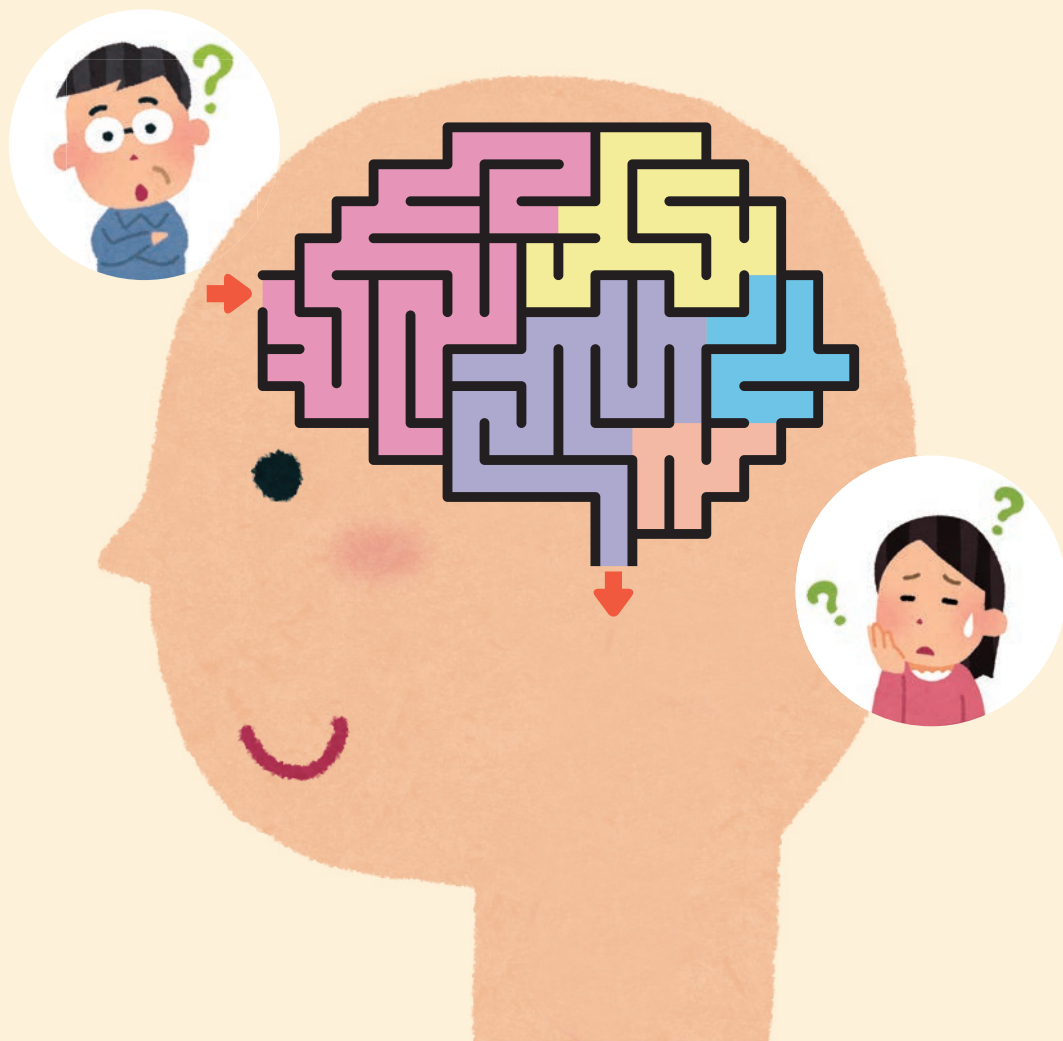


# 仕事で、生活で、 困っていませんか??

～がん医療における認知機能への影響～



---

---

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 目 次 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

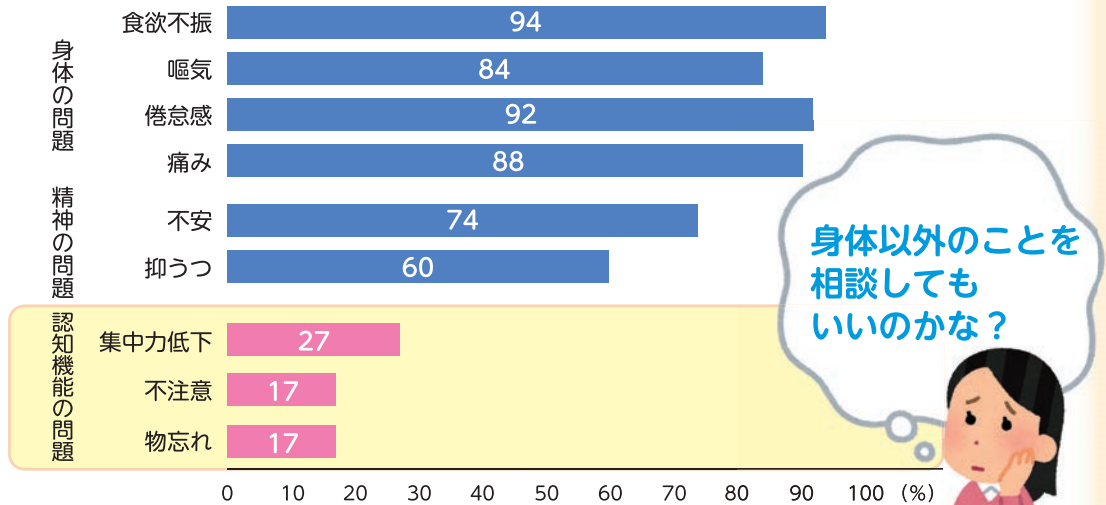
1. 患者さんが医療者に伝えている症状	2
2. このような体験はありませんか？	2
3. がん医療における認知機能障害	3
4. 認知機能障害の特徴と起こりえる影響	3
5. 症状チェックリスト	4
6. 仕事や日常生活場面でみられる認知機能障害	4
7. 気になる症状を感じたら	5
MEMO	6

---

---

## 1 患者さんが医療者に伝えている症状

医療者 401 名を対象に、「患者さんから訴えのある症状」について、「毎回ある」、「時々ある」、「あまりない」、「ほとんどない」にて回答を依頼しました。「毎回ある」、「時々ある」と回答された割合を提示しています。



身体の問題、精神の問題に比べて、  
認知機能の問題が訴えられることは少ない  
結果でした。

谷向 仁 2018 年度 公益財団法人 笹川記念保健協力財団 助成。  
「がん治療中にみられる様々な症状に関する医療者への調査」より

## 2 このような体験はありませんか？

以前と比べて・・・

- ちょっとしたことが思い出しにくくなった
- 物事に集中できなくなった
- 不注意が増えた
- 考えがまとまりにくくなった
- 仕事や家事など、いろんな作業に時間がかかるようになった
- 計画を立てて物事を行う段取りが悪くなった
- 伝えたい言葉がスムーズに出てこなくなった

これらは、認知機能障害の症状かもしれません・・・



### 3 がん医療における認知機能障害

近年、がんの闘病中にみられる認知機能障害が知られつつあります。その背景としては、がんや治療による影響、精神的ストレス、睡眠不足、薬剤などによる様々な影響が考えられます。



### 4 認知機能障害の特徴と起こりえる影響

がんに伴う認知機能障害の多くは、次のような特徴があります。

- 症状が比較的軽度であるため、簡単な認知機能検査では正常範囲になることがあります。
- 物忘れ以外の症状(不注意が増える、集中力が続かない、作業に時間がかかるなど)が見られやすいです。📄 [\[5. 症状チェックリスト\]](#)へ
- 仕事や家事、勉強など、何らかの作業中に影響が出やすいです。
- 患者さんは困っているものの、自分自身に何が起きているのかわからず、様々なことがスムーズに行えないこと、家族や周囲の人から気付かれにくいことなどから、一人で悩みを抱え込み、心理的ストレスが増してしまうリスクがあります。
- そのため、活動意欲が低下したり、対人接触、様々な社会活動への参加にも億劫になるなどの影響が出る可能性があります。

## 5 症状チェックリスト

以前と比べて、このような症状ありませんか？

- 物事に集中できない
- 気が散りやすい
- 集中力が続かない
- 作業を終わらせるのに時間がかかる
- 言葉を思い出すのに苦労する
- 物事を新たに学習するのが難しい
- 複数の作業を同時にするのが難しく、混乱しやすい



## 6 仕事や日常生活場面でみられる認知機能障害

	名称	症状の例	日常生活場面の例
健忘症状	記憶機能 (物忘れ)	日常の出来事などを容易に思い出せない	昨夜何を食べたかを思い出せない 書類や道具をどこに置いたか思い出せない
非健忘症状	注意機能	物事に集中できない 気が散りやすい 集中力が続かない	仕事・家事・勉強への集中力が続かない 他人の話し声で気が散る
	処理速度	作業を終わらせるのに時間がかかる	事務作業のスピードが遅くなった
	言語機能	言葉を思い出すのに苦労する	取引先・近所の人の名前が思い出せない
	学習機能	物事を新たに学習するのが難しい	新しい仕事・家事を覚えられない
	遂行機能	複数の作業を同時にするのが難しく、混乱しやすい	複数の料理を同時に作ろうとして混乱する

## 7 気になる症状を感じたら

■ 認知機能障害がみられる場合、その原因は様々です。

■ そして、その原因によって対処法が異なる可能性があります。



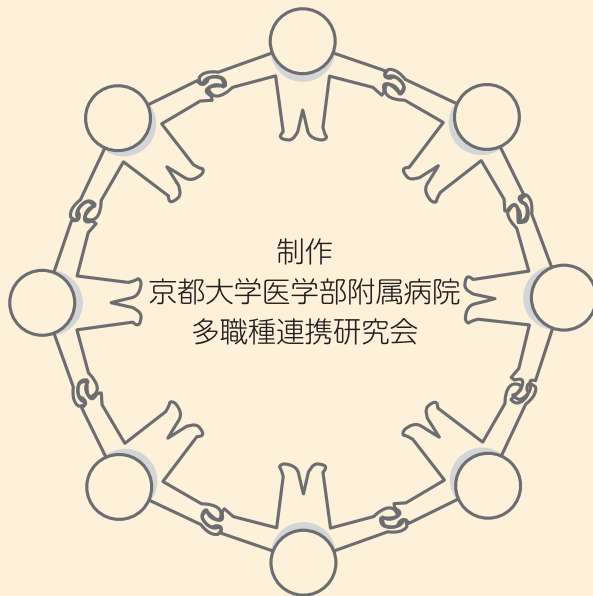
### ■ 気になる症状があれば、一人で抱え込まないで

- ・ 担当医 / 看護師
- ・ 緩和ケアチーム
- ・ 精神腫瘍科 / 精神科
- ・ がん相談支援センター
- ・ 地域包括支援センター
- ・ ケアマネジャー など

まずは身近な医療者に相談してみましょう！







制作

京都大学医学部附属病院

多職種連携研究会